

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
330014	X-21-B-2-330014	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	2年
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	2年
現代アメリカ論	山崎 由紀			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		
授業目的							
この講義の目的は、民衆の視点を通して、現代アメリカの諸問題を理解することである。とりわけ重要となる19世紀から20世紀への世紀転換期に生じた社会的・政治的・経済的な問題を概観した後、それらの問題の担い手となった多様な人々・集団に焦点をあて、彼らが20世紀後半・21世紀のアメリカの政治・社会・文化のあり方にどのように影響を与えてきたかを考察する。							
各回の授業内容							
第1回 【授】 イントロダクション 【前・後】 【予・復習に4時間】教科書などでどのようなことを学ぶのかを知り、考えておくこと。				第9回 【授】 人種・民族とアメリカ社会：アジア人 【前・後】 【予・復習に4時間】教科書第8章を事前に予習し、講義後は自分のノートと教科書で重要なポイントと自分の考察をまとめておくこと。			
第2回 【授】 世紀転換期：産業化と移民社会 【前・後】 【予・復習に4時間】配布プリントを事前に予習し、講義後は自分のノートとプリントで重要なポイントと自分の考察をまとめておくこと。				第10回 【授】 宗教とアメリカ社会～ピューリタンの遺産と福音主義の台頭～ 【前・後】 【予・復習に4時間】教科書第13章と配布プリントを事前に予習し、講義後は自分のノートと教科書で重要なポイントと自分の考察をまとめておくこと。			
第3回 【授】 世紀転換期：格差・階級の形成と政治社会のリベラル化・保守化 【前・後】 【予・復習に4時間】配布プリントを事前に予習し、講義後は自分のノートとプリントで重要なポイントと自分の考察をまとめておくこと。				第11回 【授】 第11回：宗教とアメリカ社会～移民の教会としてのカトリック～ 【前・後】 【予・復習に4時間】教科書第13章と配布プリントを事前に予習し、講義後は自分のノートと教科書で重要なポイントと自分の考察をまとめておくこと。			
第4回 【授】 人種・民族と社会：WASP社会の成立 【前・後】 【予・復習に4時間】教科書第5章を事前に予習し、講義後は自分のノートと教科書で重要なポイントと自分の考察をまとめておくこと。				第12回 【授】 階級・格差から見るアメリカ社会 【前・後】 【予・復習に4時間】教科書第13章と配布プリントを事前に予習し、講義後は自分のノートと教科書で重要なポイントと自分の考察をまとめておくこと。			
第5回 【授】 人種・民族と社会：非WASPの白人たち 【前・後】 【予・復習に4時間】教科書第5章を事前に予習し、講義後は自分のノートと教科書で重要なポイントと自分の考察をまとめておくこと。				第13回 【授】 ジェンダーから見るアメリカ社会 【前・後】 【予・復習に4時間】教科書第3章を事前に予習し、講義後は自分のノートと教科書で重要なポイントと自分の考察をまとめておくこと。			
第6回 【授】 人種・民族とアメリカ社会：黒人 【前・後】 【予・復習に4時間】教科書第6章を事前に予習し、講義後は自分のノートと教科書で重要なポイントと自分の考察をまとめておくこと。				第14回 【授】 まとめと展望～現代アメリカ社会と時事的諸問題～ 【前・後】 【予・復習に4時間】教科書第3章を事前に予習し、講義後は自分のノートと教科書で重要なポイントと自分の考察をまとめておくこと。			
第7回 【授】 人種・民族とアメリカ社会：先住民 【前・後】 【予・復習に4時間】教科書第4章を事前に予習し、講義後は自分のノートと教科書で重要なポイントと自分の考察をまとめておくこと。				第15回			
第8回 【授】 人種・民族とアメリカ社会：ヒスパニック・ラティーノ 【前・後】 【予・復習に4時間】教科書第7章を事前に予習し、講義後は自分のノートと教科書で重要なポイントと自分の考察をまとめておくこと。				第16回			
成績評価方法							
上記14回の講義に加えて、1回分の課題を課します。詳細は授業中に指示します。期末レポートと学期内課題を60%、コメントカードの提出回数・内容を20%、出席と授業貢献を20%として成績判定を行う。成績は本学の基準に従う。							
教科書・参考書							
有賀夏紀・油井大三郎編『アメリカの歴史：テーマで読む多文化社会の夢と現実』（2002年、有斐閣）							
受講に当たっての留意事項							
前年度までに学んだ「アメリカ史概説」や「アメリカ文化論」などの授業について、よく復習しておくこと。日頃から、アメリカ関連のニュースなどを注意して見聞きしておくこと。							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性						アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×							×
学習到達目標							
現代アメリカの持つ様々な問題を、歴史的背景を理解した上で、自分で考察・分析できる力を身につける。							
JABEE							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習